

(5) 川のはんらん

山が切り開かれ、森林が住宅地にかわり、地表面がコンクリートなどでおおわれると、雨水が地面にしみこみにくくなり、雨水は住宅地などから水路を流れて急に川に集まります。

大雨や長雨が続くと洪水が発生し、あふれ出た川の水によって住宅などが浸水する被害がおこることもあります。



2019年(令和元年)10月の大雨による一宮川流域の増水のようす(長南町)

・水害(水による災害)を防ぐ

2019年(令和元年)10月の大雨では、河川から洪水があふれたり、地域にふった雨が河川に流しきれなくなったため、たくさんの住宅や道路などが浸水しました。

また、近年では気候変動※2により、昔に比べて水害がはげしく、また、起きやすくなっています。

そこで、一宮川では流域治水※3として、河川を広げたり、洪水を一時的に貯める調節池をつくる工事とあわせて、地域住民や農家に協力してもらいながら、住宅地の雨水浸透枳※4や、稲刈り後の田んぼに雨水を貯める田んぼダムなどの対策を進めています。



洪水時に一宮川の水を一時的に貯める調節池を増設しています(茂原市)



雨水浸透枳のしくみ

- ※1 ○川の流域…降った雨が○川に集まる地域
- ※2 気候変動……長い時間の経過とともに気温や降水量が変化すること
- ※3 流域治水……流域内の行政、住民、企業などが協力して浸水被害を軽減させること
- ※4 雨水浸透枳…家の敷地に降った雨水を集めて地中に浸透させる枳